

平成17年度 第16回 関東高等学校バスケットボール新人大会

平成18年2月11日(土)

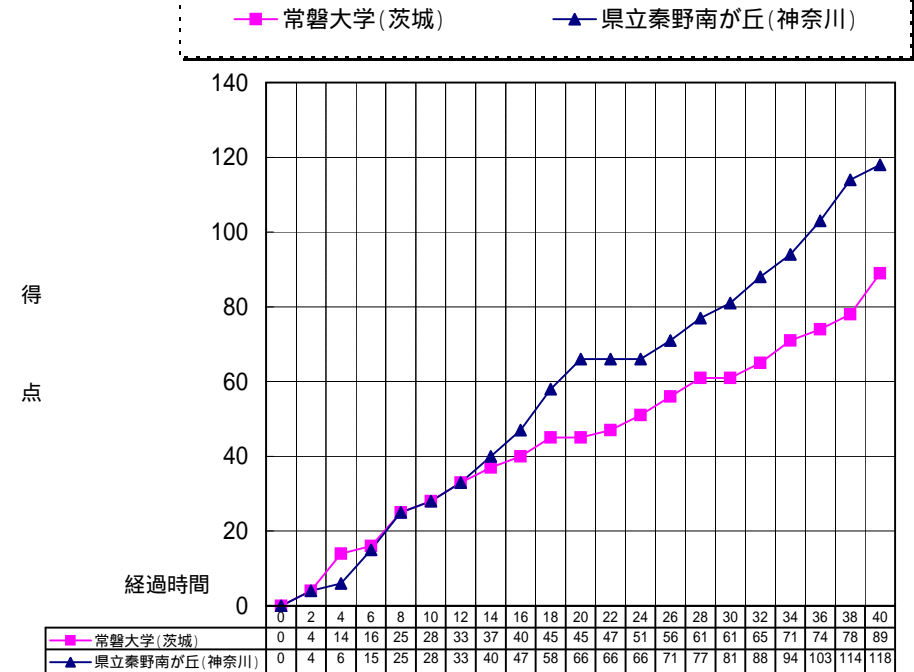
【男子】 1回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第1試合

常磐大学(茨城)	89	$\left. \begin{array}{l} 28 - 28 \\ 17 - 38 \\ 16 - 15 \\ 28 - 37 \\ - \end{array} \right\} 118$	県立秦野南が丘(神奈川)

常磐大学(茨城)			コーチ 川崎 秀典													
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	外岡 孝幸	14	0	1	7	11	0	0	3	2	7	9	5	2	1	9
5*	和田 幸大	15	2	7	3	9	3	6	0	1	4	5	3	3	0	9
6*	森 達也	16	0	0	8	13	0	1	4	7	8	15	1	1	0	5
7*	倉本 雅之	11	0	0	5	9	1	2	4	2	4	6	0	1	2	2
8	藤田 和哉	25	7	14	2	9	0	0	1	3	4	7	0	0	0	5
9	小川 佳太															
10*	檜山 修平	0	0	1	0	4	0	0	1	1	0	1	3	1	0	2
11	淀野 照久	8	0	0	3	4	2	2	3	0	2	2	1	1	0	2
12	鹿嶋 敦															
13	鴨川 和生	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
14	小泉 洋輔															
15	金沢 大地															
16	田中 智之															
17	佐川 善彦															
18	江嶋 大祐															
チーム																
チーム		89	9	23	28	61	6	11	17	16	31	47	13	9	3	35
*:スターティングメンバー			確率	39.1%	45.9%	54.5%										

県立秦野南が丘(神奈川)			コーチ 野村 泰弘													
番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	神尾 大輔	17	3	12	2	4	4	4	1	5	5	10	3	6	0	1
5*	青木 俊	9	0	0	3	4	3	3	2	1	7	8	9	5	0	3
6*	湯川 忠	24	0	1	11	21	2	2	2	3	3	6	0	2	1	3
7*	原田 佳明	38	7	21	6	12	5	6	0	5	3	8	2	5	3	3
8	田代 曜	8	0	2	3	4	2	2	3	4	3	7	1	2	0	4
9*	相良 和紀	15	0	0	6	13	3	3	4	3	7	10	4	3	1	1
10	片野 潤	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
11	小室 圭祐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
12	嵯峨 大和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	井上 駿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	安齋 翔一															
15	興津 徳幸	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
16	菅原 健太郎															
17	大久保 彰太郎	2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
18	細谷 将司	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チーム		0														
チーム		118	11	39	33	60	19	20	14	24	30	54	20	24	5	18
*:スターティングメンバー			確率	28.2%	55.0%	95.0%										

2分毎による得点の推移



戦評

両チームとも速い展開で得点を狙いにくい。立ち上がり、常磐大学は#6森の3連続ゴールでリズムをつかむ。5分過ぎには16-6とリードする。秦野南が丘は2-2-1のオールコートゾーンプレスから2-3ゾーンでターンオーバーを誘い、残り3分49秒には19-16と逆転する。1Pは28-28の同点で終了。2Pに入り、秦野南が丘のゾーンプレスが機能して#7原田の3P、ドライブイン、#6湯川のドライブイン、ミドルシュートがリズムよく決まり、前半は66-45と21点リードで終了。3Pに入ると常磐大学は2-3のゾーンに変え、最初は点差を詰めたが得点が伸びず、秦野南が丘が徐々にリズムを作って得点し、前半終了の得点差のまま81-61で終了。4Pは20点差のままゲームが進むが残り5分くらいから秦野南が丘がさらに得点差を広げて、最後は118-89で秦野南が丘が勝利した。

主審 柳屋 伸明 (東京)

副審 大木 裕一 (高体連)

記入者 吉田 厚司 (高体連)